

日本技術士会DEI推進宣言

説明資料

2025年(令和7年)5月

公益社団法人 日本技術士会

目次

1. 策定の趣旨「なぜいま？」
2. DEIとは？
3. DEIをめぐる日本技術士会の課題
4. 日本技術士会DEI推進宣言

出典：日本技術士会男女共同参画推進委員会、日本技術士会DEI推進宣言参考資料、2025年4月 を元に作成
https://www.engineer.or.jp/c_cmt/danjyo/topics/010/010904.html

策定の趣旨 「なぜいま？」

本会の使命

技術士の品位の保持、資質の向上等を図ることにより、科学技術の向上や国民経済の発展、国際交流の推進に寄与し、さらには広く社会に貢献する（定款第3条より）

社会動向

- 不確実性の時代
- ジェンダー・ギャップ
- 少子高齢化
- 働き方改革 など

本会の現状と課題

- 多様性の尊重の明示
 - ・組織行動規範
 - ・技術士倫理綱領
- 会員構成、体制
- 各種活動 など

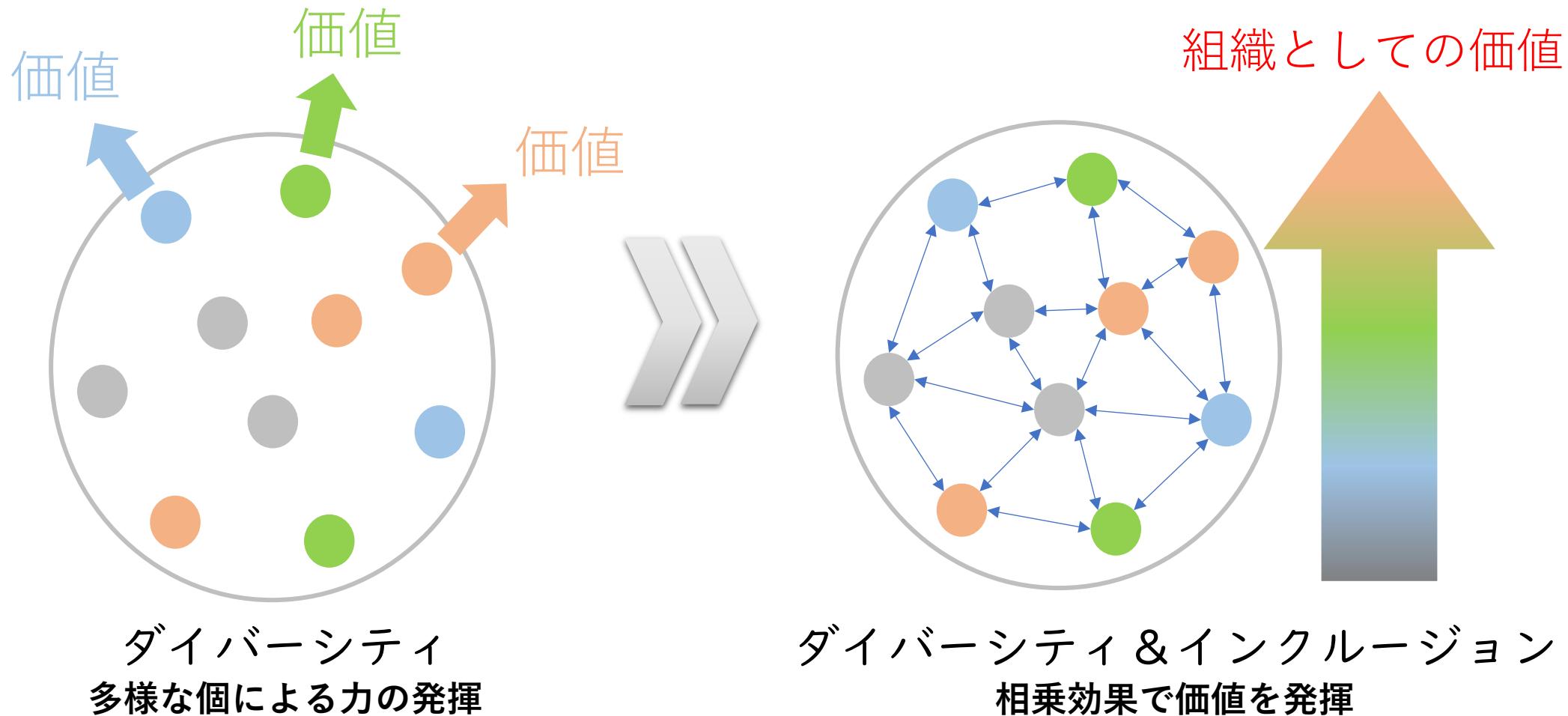
日本技術士会DEI推進宣言（2025年3月14日策定）

DEI、すなわち多様性（Diversity）、公平性（Equity）及び包摂性（Inclusion）の推進により、すべての技術士が活躍し、社会課題の解決やウェルビーイング*の向上に貢献することを宣言します

*ウェルビーイング（Well-being）とは、肉体的・精神的・社会的に満たされた状態

ダイバーシティ&インクルージョンとは？

ダイバーシティ&インクルージョンとは、多様な個が力を発揮するだけではなく、個性や特性のちがいを包摂することで、相乗効果を得て組織全体で新たな価値を創出することを意図しています。



D&IからDEIへ 「平等では不足？」

これまでのD&Iの概念では現状が改善されにくかったとし、公平性（Equity）が追加され、DEIが広く提唱されるようになりました

Equityは、一人ひとり、スタート地点が違うことを前提に必要な環境やツールを提供するという考え方です

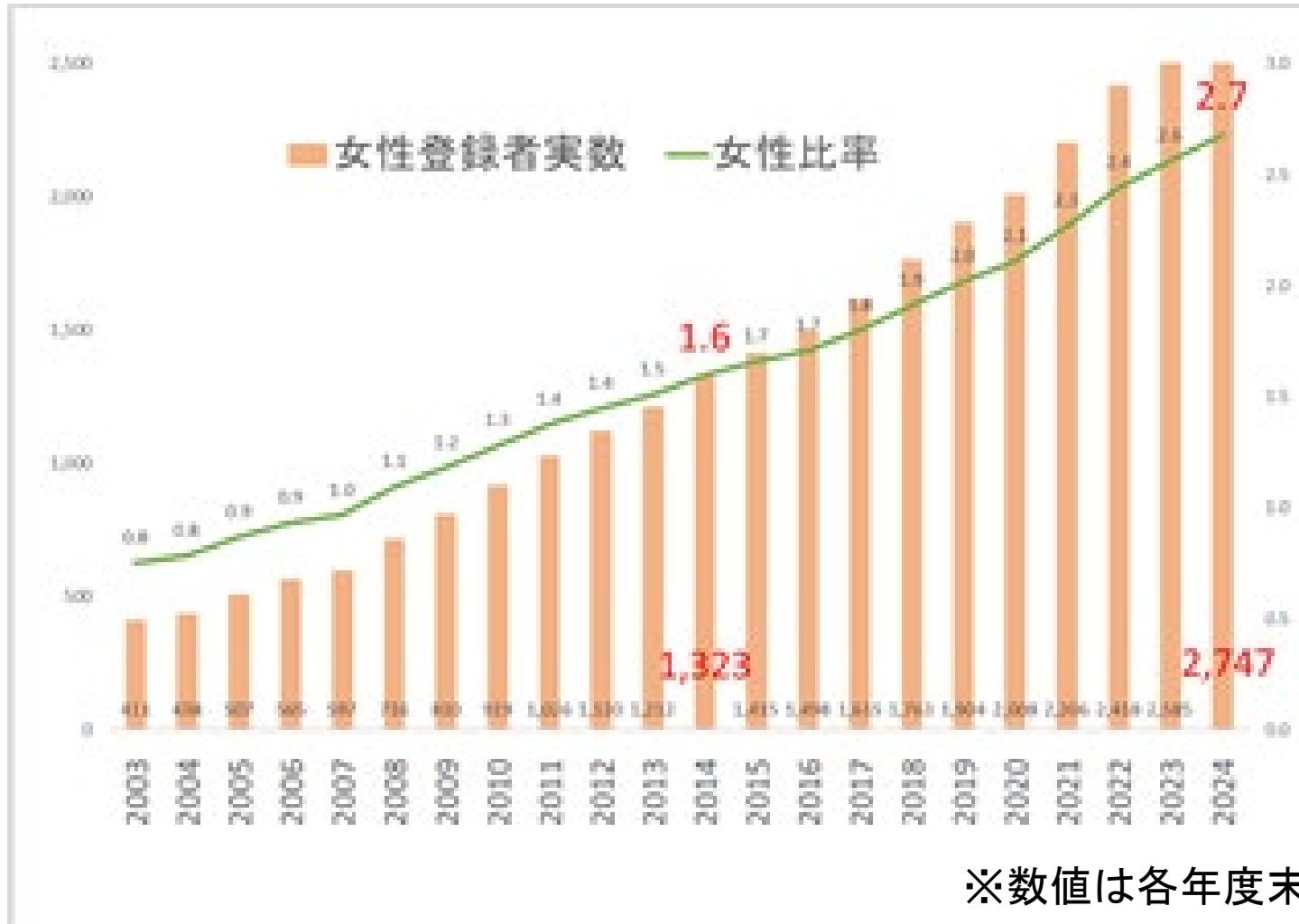


- 平等 (Equality) : 誰に対しても同じツール・機会を与える
- 公平(Equity) : 個別の状況や環境を考慮しながらリソースを与える

技術士に占める女性 「10年で1%増」

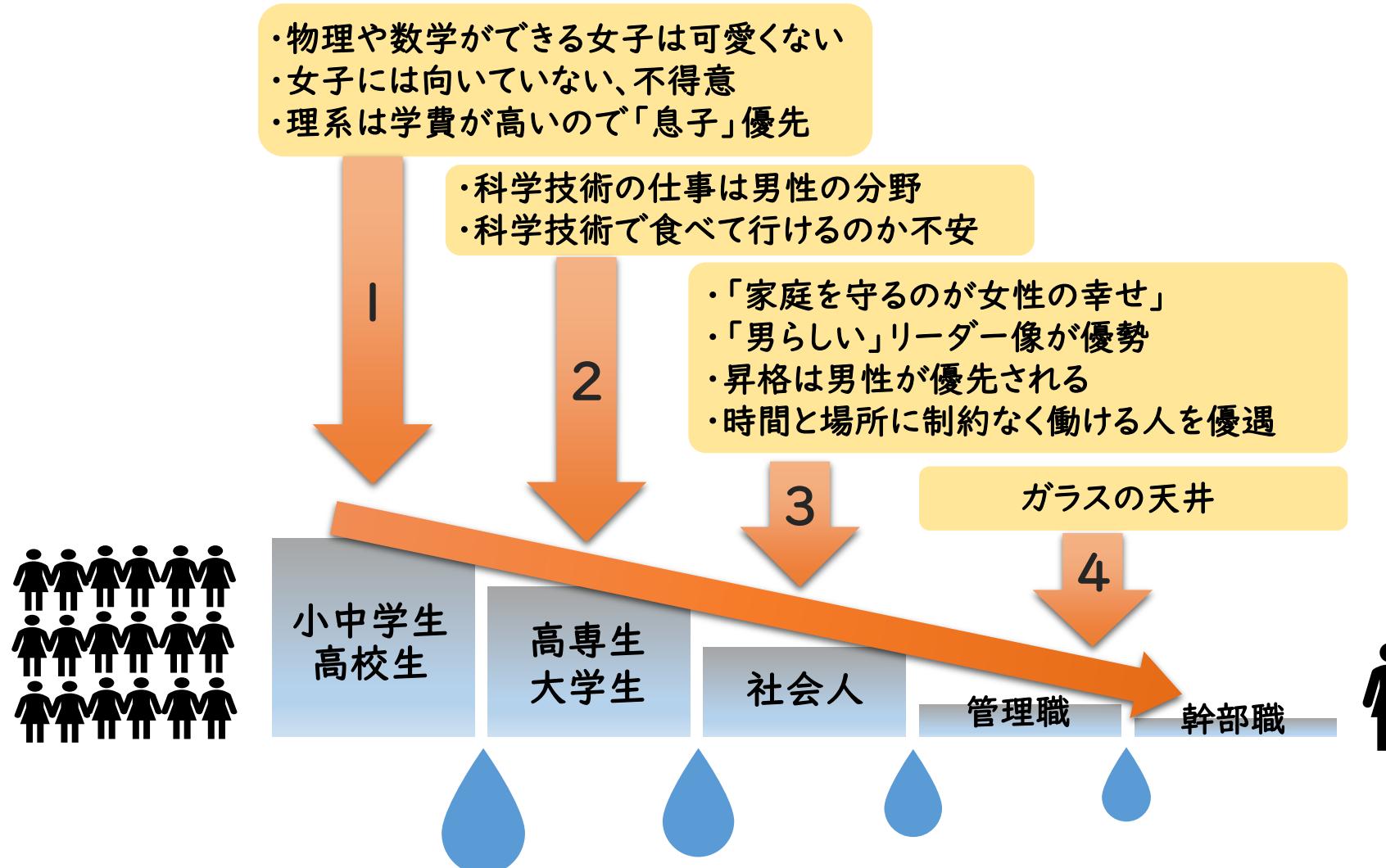
女性技術士は10年間で倍増し2,747名

技術士に占める女性割合は増加傾向にあるものの、10年間で1%増にとどまり2.7%



STEM女性 「なぜ少ないの？」

「無意識のバイアス」によりキャリアのパイプラインが先細り



STEM分野とは

- ・科学 (Science)
- ・技術 (Technology)
- ・工学 (Engineering)
- ・数学 (Mathematics)

無意識のバイアスとは

- ・自分でも気付かない
- ・誰でも持っている
- ・育った環境、経験、マスメディアなど周囲の影響が大きい

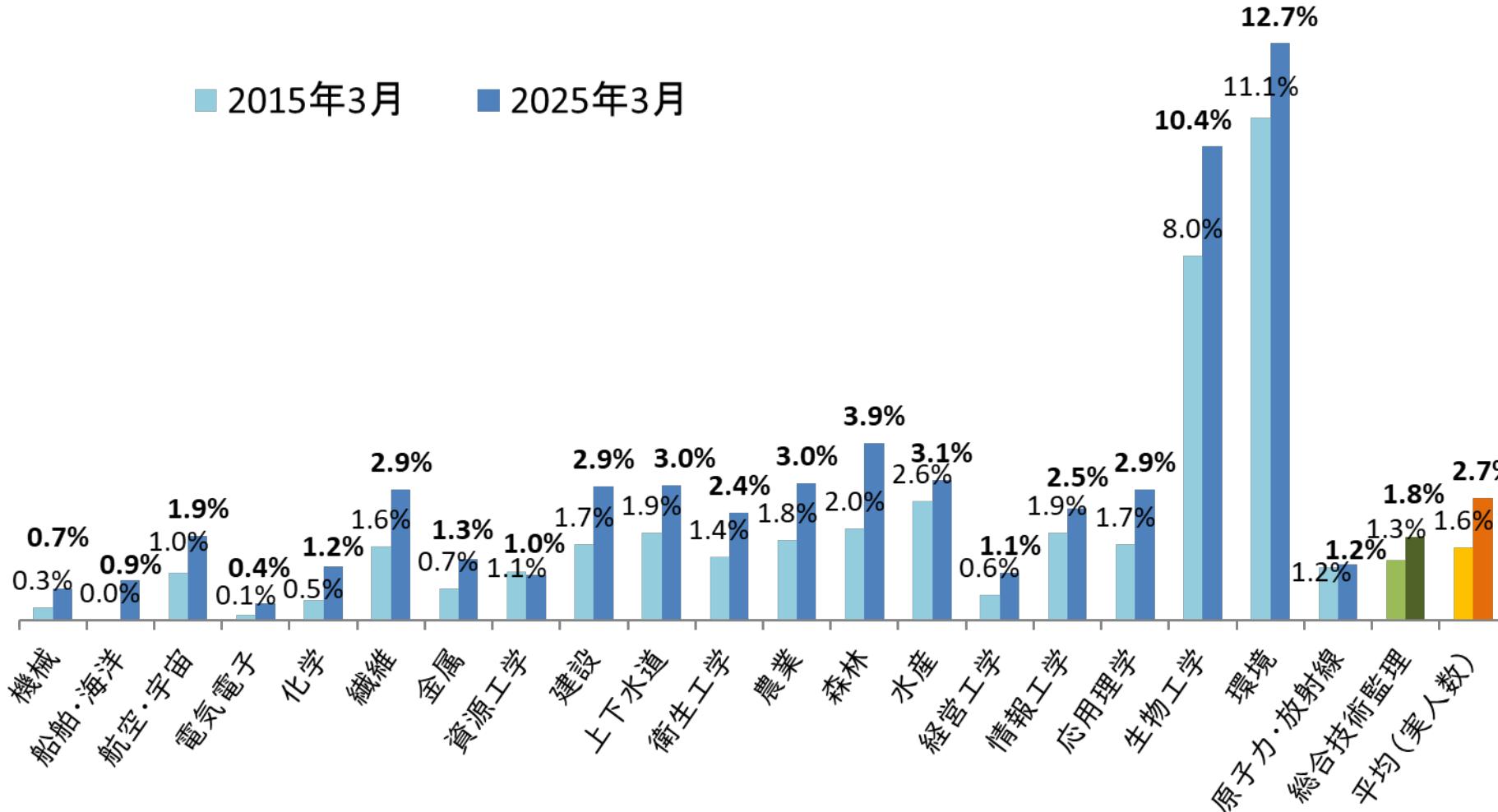
ガラスの天井とは

- ・能力や実力のある人材が、性別などを理由に昇進やキャリアアップを妨げられている不当な状態の比喩表現

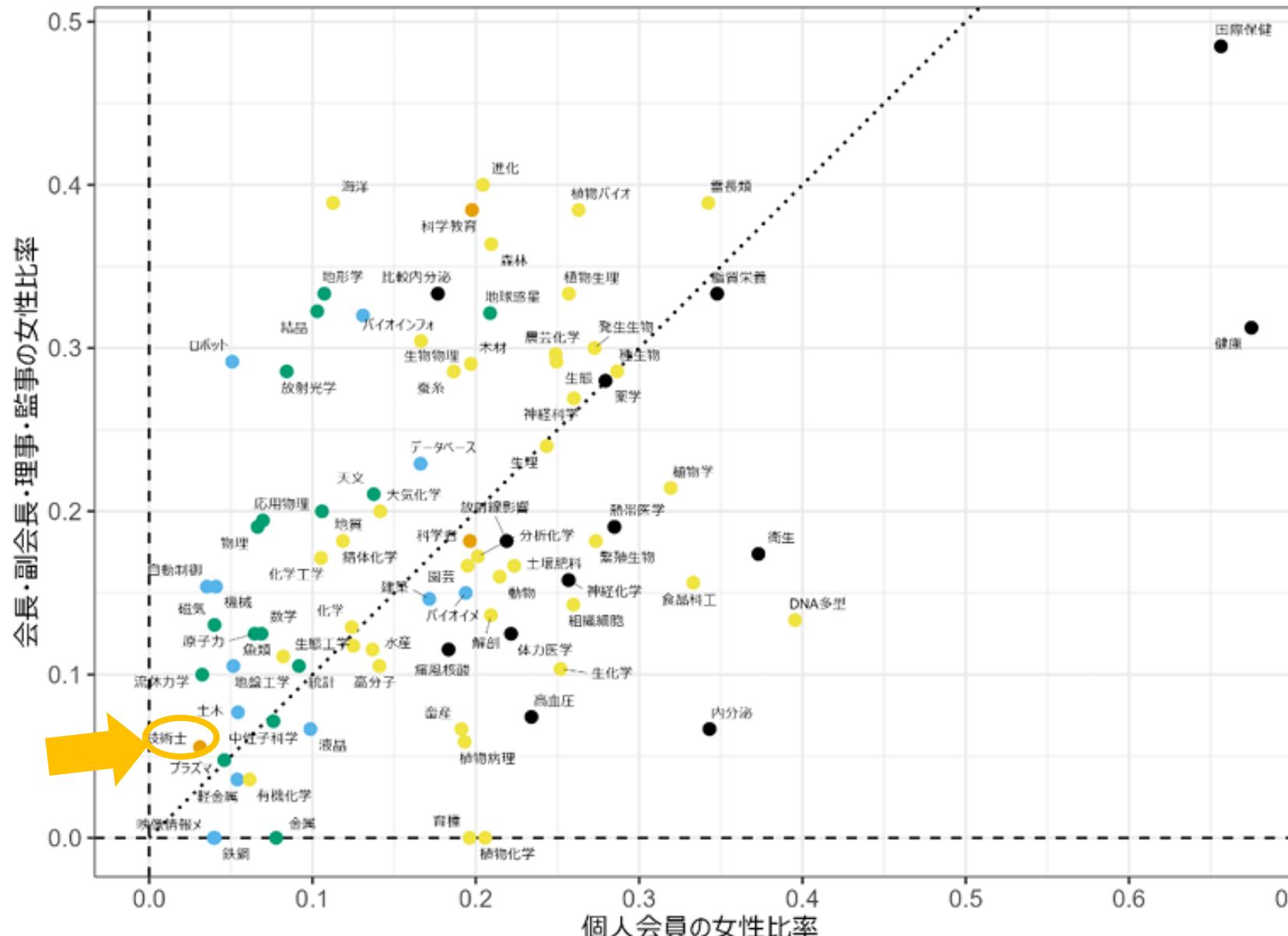
技術士の部門別女性割合

技術士登録者に占める女性割合

部門により0.4%（電気電子）～12.7%（環境）と幅があり、平均2.7%



学協会別会員・役員の女性比率の関係(N=84)



- ・本会の女性比率は3.3%で回答学協会の中で最も低い
- ・役員等の女性比率5.7%で低位

分野

- 医・歯・薬学
- 社会
- 情報・工学
- 数・物・地学
- 生・化・農学

出典：男女共同参画学協会連絡会2023年女性比率調査
https://www.djrenrakukai.org/doc_pdf/2023_ratio/2023_ratio_results.pdf

I 目指す姿

日本技術士会は、
多様・多彩な技術者、技術をつなぐプラットフォームとして、
誰もが能力を発揮し、
誰もがその人らしく生きられる社会の実現に貢献します

II 趣旨

日本技術士会は技術士の品位の保持、資質の向上等を図ることにより、科学技術の向上や国民経済の発展、国際交流の推進に寄与し、さらには広く社会に貢献することを使命としています。

本会は多様な専門性を持つ高度な技術力と実践力を備えた技術士を擁し、この強みを活かすことで真価を一層發揮し、社会課題解決に貢献し得ます。

今日のような不確実性の高い時代において、本会の使命を果たし、強みを活かすためには、既成概念に囚われない柔軟な発想、多様な視点で社会課題の解決に向き合うことが必要です。

本会は、DEI*1、すなわち多様性(Diversity)、公平性(Equity)及び包摂性(Inclusion)の推進により、すべての技術士が活躍し、社会課題の解決やウェルビーイング(Well-being)*2の向上に貢献することを宣言します。

*1) DEI(ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン)とは、多様性を包摂し、誰もが公平に活躍できる状態をつくり、新たな価値創出などの組織力を高めようという考え方

*2) ウェルビーイング(Well-being)とは、肉体的・精神的・社会的に満たされた状態

Ⅲ 基本方針～DEIを推進する3つの「シンカ」～

1. 意識の深化～DEI風土・文化の醸成～

日本技術士会は、技術士や技術士を目指す方の多様性を高め、誰もが活躍できる風土・文化を醸成します。また、これらの方がDEI推進の意識を深め合えるよう支援します。

2. 仕組みの進化～多様な技術士の活躍～

日本技術士会は、仕組みや取組みの進化により、性別、年齢等の多様な会員が活躍できる環境を拡大します。これにより、DEIを推進する行動の促進や多様な技術士の活躍につなげます。

3. 社会貢献で真価～多様な技術による社会課題解決～

日本技術士会は、技術を通じたコミュニケーションの機会を増やし、本会内外でDEIを実践する活動の輪を広げ、社会課題の解決やウェルビーイングの向上につなげることで、私たちの真価を一層発揮します。

日本技術士会DEI推進宣言（概要図）

目指す姿

日本技術士会は、多様・多彩な技術者、技術をつなぐプラットフォームとして、誰もが能力を発揮し、誰もがその人らしく生きられる社会の実現に貢献します

D iversity (多様性)

性別、年齢、国籍、障害、知識、経験、専門性、価値観などの多様性を受け入れ、さらに高める

E quity (公平性)

すべての人が活躍できるよう、一人ひとりの個性や特性に応じた環境、ツールを公平に用意する

I nclusion (包摂性)

個性や特性のちがいを包摂することで、すべての人が能力を発揮し、組織全体で新たな価値を創出する

基本方針

DEIを推進する3つの「シンカ」

1. 意識の深化～DEI風土・文化の醸成～
2. 仕組みの進化～多様な技術士の活躍～
3. 社会貢献で真価～多様な技術による社会課題解決～

DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）とは、多様性を包摂し、誰もが公平に活躍できる状態をつくり、新たな価値創出などの組織力を高めようという考え方

取組みの方向性（イメージ）「何をする？」

※今後、アクションプランを検討予定

区分 3つの「シンカ」	日本技術士会の取組み	技術士・会員への期待
1. 意識の深化	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材の育成に向け、技術士の情報提供を拡充 DEIの意義や課題について知る機会を拡大など 	<ul style="list-style-type: none"> 技術者倫理やDEIについて学ぶなど
2. 仕組みの進化	<ul style="list-style-type: none"> 技術士、会員、委員、役員、講演講師等の多様性を拡大 多様な会員が公平に活動できる仕組み・取組みを推進 技術士を目指す女性や若手の技術者が育つための取組みを推進など 	<ul style="list-style-type: none"> 職場、地域組織等のDEI推進に向けて行動など
3. 社会貢献で真価	<ul style="list-style-type: none"> 分野、経験等の多様性の包摂による本会の強みを發揮 技術士の交流を促すプラットフォーム機能の強化 企業、教育機関、行政等との連携を推進 海外の技術者団体との連携を強化など 	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献活動に参加 良き理解者、相談相手として女性や若手など多様な人材を育成 グローバルに活躍する技術者と情報を交換など